

## ▶ ファーストリテイリング社と戦略的グローバルパートナーシップを構築

株式会社ファーストリテイリング様と当社は2018年10月9日、中長期的・包括的な物流に関する戦略的グローバルパートナーシップ合意書を締結しました。これは東京・有明にあるファーストリテイリングの物流倉庫の自動化を通じて構築した強固な信頼関係と、卓越したイノベーションを通じて社会に貢献する、という共通の企業文化の下、中長期にわたる両社のさらなる発展と、継続して安定した物流機能の提供を目指すものです。両社の豊富な知識と経験による物流システムの改革・改善に努め、お客さまの元に商品をより早くお届けでき

るよう、革新的で画期的な物流システムを構築していきます。



有明で行われた記者会見。

## ▶ 新千歳空港に国内初の手荷物搬送システムを納入

当社は、新千歳空港ターミナルビルディング株式会社様が運営する新千歳空港国際線旅客ターミナルビルに最新の手荷物搬送システムを納入します。当案件は、当社として日本国内で初めての受注となります。

同空港に納入する手荷物搬送システムは、世界中の空港で使用実績を有する各種コンベヤのほか、最新のカメラ式バーコードスキャナーや、搬送中の手荷物を常時監視・追跡するためのソフトウェアなどで構成。従来型システムと比較して、手荷物タグの読み取り精度が向上し、3次元リアルタイムでの手荷物情報管理が可能になります。受託手荷物の遅延や未着を防止することで、

管理コストの軽減を図り旅行者の顧客満足度の向上にもつながります。



海外の空港で多くの納入実績がある当社グループの空港向けシステム。

## ▶ 米国子会社の生産能力を増強

当社の米国子会社であるWynright Corporationは、インディアナ州ホバート市（ノースウインド クロッシングズ ビジネスパーク内）に新工場を建設し、イリノイ州内にある2工場を新工場に集約・統合します。

これは、海外売上の拡大に対応するため、これまでの日本を中心とした生産体制から、当社グループ全体の最適調達・生産体制に移行し、生産性・収益性の向上を目指すものです。

完成後の2019年末から、新工場では仕分けシステムやコンベヤ、自動倉庫などの一般製造業・流通業向け

システムの生産を開始し、同社の生産能力は従来の約2倍になる予定です。



1階建てで延べ床面積2万9,766m<sup>2</sup>の新工場（完成イメージ）。

## ▶ グループ初の統合報告書を発行

当社は、従来のアニュアルレポート・CSRレポートに代わり、グループ初の統合報告書『Daifuku Report 2018』を発行しました。本報告書は、経営状況を定量的に示す「財務情報」、環境・社会・ガバナンスからなる「非財務情報」、成長性を示す「事業・戦略情報」の要素を統合したものです。

今回、「価値創造モデル」を作成し、社会環境の変化などから生まれるお客さまのニーズを当社のビジネスモデルでいかに解決し、経済価値を創出しながら、どのような社会価値を提供していくかを図式化しています。



などから生まれるお客さまのニーズを当社のビジネスモデルでいかに解決し、経済価値を創出しながら、どのような社会価値を提供していくかを図式化しています。



統合報告書『Daifuku Report 2018』にはQRコードからアクセスできます。

## ▶ ぶどうプロジェクト2018を開催

当社は、CSR活動の一環として、「ぶどうプロジェクト2018」を開催しました。NPO法人愛のまちエコ倶楽部が主催する「愛東果樹応援隊制度」に賛同し、ぶどうの栽培支援による地域産業振興、地元消費による地産地消の取り組みを行っています。

今回、当社滋賀事業所の社員とその家族が東近江市内の果樹園で7月にぶどうの袋掛け作業、9月にぶどうの収穫を実施。また収穫したぶどうを使い、滋賀県内の養護学校の生徒がパンとジャムを製造、滋賀事業所内の食堂で社員に販売しました。



養護学校の生徒によるパンづくりの様子。

## ▶ 「日に新た館」に新システムを展示

2018年10月から、総合展示場「日に新た館」で空港向けシステムの実機展示を開始しました。国際物流総合展2018にも出展したセルフ手荷物チェックインシステム「セルフバッグドロップ」を展示。そのほか、無人搬送車を活用して検査が必要な手荷物を検査ステーションまで自動搬送し、そのまま検査台として使用できる無人搬送車式手荷物検査システムなどの最新システムを展示しています。



セルフバッグドロップはハイブリッド無人搬送車式手荷物検査システムとオートスキャンの2タイプを設置。デモの様子。

## ▶ 地球温暖化防止に関する表彰を受賞

当社は、環境省が実施する「平成30年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰（対策活動実践・普及部門）」を受賞しました。同表彰は、環境省が地球温暖化対策を推進する一環として、1998年から毎年、地球温暖化の防止に顕著な功績のあった個人や団体をたたえるものです。

当社は、持続可能な地球環境づくりに事業を通じて貢献すべく、2011年に地球環境保全に対する指針である「ダイフク環境ビジョン2020」を策定しました。このビジョン達成に向けた地球温暖化防止および環境貢献活動を継続的行ったことが、今回の受賞につながりました。



表彰状を受け取る当社執行役員（写真右）。